

For Earth, For Life  


製品型式 : PW24W-EW2  
 PW24W-EWL2

除菌・消臭・加湿

# ピュアウォッシャー

## 取扱説明書



### ● お使いになる前に

安全のために必ずお守りください	2
製品の仕様	5
除菌水取出し機能の仕様	6
基本動作	7
各部の名前	8
初めて使用する前に	11
水回りを清潔に保つために	12
水回りの点検と自主管理	13

### ● 運転のしかた

操作パネル表示内容	14
基本的な運転方法	15
各設定の方法	16
その他の操作方法	18
※ 除菌水取出し手順	19
※ 除菌水取出し機能付きの機種のみ有効な操作です。 (PW24W-EW2)	

### ● お手入れのしかた・困ったときに

お手入れのしかた	20
メンテナンス契約について	24
困ったとき	25
製品についてのご相談	28
保証	28

この度はクボタのピュアウォッシャーをお買い求め頂き誠にありがとうございます。








<本書取扱い上のお願い>・

- ご使用前に安全にお使いいただくため本書を必ずお読みください。・
- お読みになった後は、いつでもご確認いただける所に保管してください。
- お使いになる方が代わる場合は、必ず本書をお渡しください。
- 据付・移設時は施工要領書を参考に工事業者が行なってください。  
またサービス業者による試運転で安全に使用できることを確認してからご使用ください。

# お使いになる前に 安全のために必ずお守りください

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

■「図記号」の意味は次のとおりです。

 <b>警告</b>	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの。	 <b>禁止</b>	 アース線接続
 <b>注意</b>	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。	 指示を守る	 水ぬれ禁止
		 ぬれ手禁止	

## 警告













<b>アース付コンセント(3P、AC100V)に接続する</b> ・3Pアース付コンセントでない場合は、3P変換プラグを取り付けて必ずアースを接続してください。 故障や漏電による感電、火災や焼損の原因になります。 ・不完全なアースは感電の恐れがあります。 ・アースはガス管、水道管、避雷針、電話のアース線には接続しないでください。		<b>屋内に設置する</b> 故障や感電、火災の原因になります。直射日光や雨水など、天候の影響を受けない屋内に設置してください	
<b>空気清浄以外の用途に使用しない</b> 故障や事故の原因になります。 ※なお、本製品は医療機器ではありません。		<b>必ず転倒防止措置を講じる</b> 製品への衝撃や災害による転倒を防ぐため、必ず講じてください。措置方法は販売店にご相談ください。 転倒防止板を使用する場合は、製品の背面は壁面としてください(ガラス等は裂けてください)。	
<b>お客様自身で分解・修理・据付・移設・廃棄はしない</b> 不備があると火災、感電、製品の転倒による故障や水漏れ、ケガの原因になります。作業が必要な場合は販売店にご相談ください。		<b>異常時(異臭、異音など)は運転を停止する</b> 異常な状態のまま運転を続けると故障や火災、感電の原因になります。異常を感じた際はすぐに電源プラグを抜き、販売店にお問い合わせください。 ※運転中、吹出空気からプール臭を感じるがありますが、異常ではありません。	
<b>製品に水をかけない</b> 製品内部に水が浸入すると感電や発火、錆が発生する恐れがあります。		<b>吸込・吹出口に異物(指や棒など)を入れない</b> 故障やケガの原因になります。製品内部に異物を投入された場合は運転を停止し、販売店にご連絡ください。	
<b>濡れた手で操作パネルや電源を触らない</b> 感電の恐れがあります。必ず乾いた手で行ってください。		<b>清掃・メンテナンス作業時は運転を止め、電源をオフする</b> 不意に作動した場合、ケガや感電の原因になります。	
<b>定期的な点検・清掃、メンテナンスをする</b> ・異常や故障のまま運転を続けると火災や感電の原因になります。 ・水回りを汚れたままにするとピュアウォッシュャー本来の性能、効果を発揮できなくなります。 ・「レジオネラ症を予防するために必要な措置に関する技術上の指針(厚生労働省)」に従い、一ヶ月に一回以上の汚れの点検と自主管理を行ってください。  安心してご使用いただくため、お客様による点検や清掃、サービス業者によるメンテナンスを行ってください。		<b>設置後、サービス業者が試運転を行う</b> 据付工事完了後はサービス業者による試運転で安全に運転出来ることを確認してからお客様が運転してください。	
<b>肌や植物に直接風をあてない</b> 長時間送風を受けることで悪影響を及ぼす原因になります。		<b>適度な換気をする</b> 特にメンテナンス作業や薬液カートリッジ交換などの際は換気を行ってください。	
<b>電源コードの付近に熱器具を近づけない</b> コードの被覆が溶け、火災・感電の恐れがあります。 また、電源コードを加工したり、引っ張ったり、重量物を載せたり破損したりしないで下さい。同じく、火災・感電の恐れがあります。		<b>指定された電圧・周波数で使用する</b> 指定外で使用すると事故発生の原因になります。	
<b>漏電ブレーカが作動したときは「入」にせず、点検を依頼する</b> 無理に「入」すると感電や火災の恐れがあります。		<b>漏電ブレーカは月に1回以上動作を確認する</b> 正常に動作しないと感電の恐れがあります。	
<b>電源コードを加工したり、引っ張ったり、重量物を載せたり、破損したりしない</b> 火災・感電の恐れがあります。		<b>給水ホース継手のゆるみを定期的に確認する</b> 給水ホースには常時圧力がかかっているため、ゆるみがあったり継手が外れると、漏水の原因になります。	
<b>他の殺菌剤や洗剤と混合して使用しない</b> 塩素ガスが発生する可能性があります。			

## ⚠ 注 意



<p>吹出口・吸込口を塞がない 故障や風量低下の原因になります。吸込口・吹出口付近には物を置かないでください。</p>	<p>本製品に衝撃を与えない・体を預けない 故障や転倒によるケガの恐れがあります。また、寄りかかる・乗り上げるなどの行為もご遠慮ください。</p>
<p>専用薬液を使用する 専用薬液以外を使用した場合は故障や性能低下の原因になります。</p>	<p>本製品の除菌水を飲食物に使用しない 本製品は飲用目的ではありません。 家具や床、雑巾などの清掃・洗浄にご使用ください。</p>
<p>腐食性ガスがある場所に設置しない 故障や錆発生の原因になります。</p>	<p>5～40℃の室内で使用する 水道水凍結による断水や結露が故障の原因になります。</p>
<p>凍結が予想される場所に設置しない 故障や配管破裂の恐れがあります。</p>	<p>避難経路に設置しない 避難口や階段前など、災害時の避難を妨げる恐れがあります。移設が必要な際は販売店にご連絡ください。</p>
<p>本製品には水道水を使用する 水道水以外(温水、アロマなどを入れた水、アルカリイオン水など)のご使用は故障の原因になります。原水は水道水「水道法(昭和32年法律第177号)第4条第2項の規定に基づく水質基準に関する省令」(平成15年厚生労働省第101号)に適合」または、飲料水基準を満たした井戸水等を使用してください。</p>	<p>電源をオフしない・電源プラグを抜かない 本製品は自動洗浄運転を行なうため、電源をオフしないでご使用ください(洗浄は1日1回以上、停止時を含む)。やむを得ず電源をオフする場合は作業手順に従ってください。</p>
<p>喫煙所などニオイの強い場所に使用しない 喫煙所や特に強いニオイを発する環境でのご使用を検討される場合は販売店にご相談ください。 ※本製品は有害ガスや物質の分解・除去はできません。</p>	<p>テレビやラジオなどの近くに置かない 映像の乱れや雑音の原因になります。1m以上離して設置してください。また、別コンセントに電源プラグを差し込んでください。</p>
<p>揺れや振動の多い場所に設置しない 故障や配管からの水漏れの恐れがあります。</p>	<p>据付面のガタツキや固定金具のゆるみなどを定期的な点検する。 不完全なまま使用すると転倒事故の原因になることがあります。</p>
<p>電源プラグは定期的に清掃し、コンセントが根元まで差込まれていることを常に確認する 差し込み不良部にほこりがたまると火災の原因になることがあります。</p>	<p>扉を開閉する際は通行人、指づめに注意する 周囲に人がいないか、隙間に指がないか、十分に確認してから扉の開閉を行ってください。扉を開けて作業する際、扉が勝手に閉まらない様に固定してください。</p>
<p>国内仕様のため、国外で使用しない 電源電圧の違いなどにより、発火、発煙、焼損の原因となる場合があります。</p>	<p>燃焼器具と一緒に使用される場合は、換気する 一酸化炭素の除去はできません。燃焼器具と一緒に使用される場合は、こまめに換気してください。</p>
<p>給水圧力0.1MPa以上の給水管に接続する 流量が低い場合、機器が正常に動作しない場合があります。</p>	<p>皮膚が敏感な人は手袋等を着用する 皮膚に刺激や発疹などの症状が現れる場合は、手荒れまたは肌荒れを手袋等で防止する措置をとってください。</p>
<p>除菌水取出しホース出口にバルブ等を取り付けない 本製品は先止めでできませんので、出口に流れを止めるものを設置しないで下さい。</p>	<p>定期的に塩素濃度、pHを確認する 使用範囲から外れた時は、販売店にご相談ください。</p>
<p>ホースを無理に引っ張らない 故障や転倒によるケガの恐れがあります。また、ホースが外れて漏水する危険があります。</p>	<p>給水ホースの付近に熱器具を近づけない ホースが溶けたり、軟化して継手からの脱着により漏水する恐れがあります。</p>
<p>給水ホース・排水ホースを切断したり、加工したりしない 漏水の恐れがあります。</p>	

## <専用薬液に関するご注意>

### 警告

<p><b>薬液を飲まない、容器内のガスを吸入しない</b> 炎症や障害を引き起こす恐れがあります。</p> 	<p><b>薬液に触れない</b> 酸成分による火傷や炎症を引き起こす恐れがあります。作業の際はゴム手袋などで皮膚を保護してください。</p> 
<p><b>目に入れない</b> 失明の恐れがあります。万が一入ってしまった際は擦らずに水で十分洗い、直ちに受診してください。</p> 	<p><b>用途(ピュアウォッシャー)以外に使用しない</b> 薬液はピュアウォッシャー専用です。ピュアウォッシャーによる除菌水の製造以外の用途に使用しないでください。</p> 
<p><b>他薬剤と混ぜない</b> 有毒ガス発生など非常に危険ですので絶対に行なわないでください。(特にアルカリ性や強い酸性の液体)</p> 	<p><b>薬液の誤飲・接触・付着・吸引の際、医師の指示に従う</b> 重大な症状を引き起こす可能性があります。発生時は直ちに作業を中断し、受診の上医師の指示に従ってください。</p> 
<p><b>こぼれた時は十分拭き取る</b> 皮膚を保護し、十分拭き取ってください。強い腐食性により製品や周囲の錆や変色を引き起こす恐れがあります。</p> 	<p><b>薬液を他容器に移さない</b> 容器の異常や有毒ガス発生などを引き起こす恐れがあります。ピュアウォッシャー専用薬液の継ぎ足しや混合は行わないでください。</p> 
<p><b>空容器に他の液体を入れない</b> ピュアウォッシャー専用薬液以外入れないでください。</p> 	<p><b>薬液カートリッジは乱暴に扱わない</b> 強く握ると薬液が漏れたり、思わぬ方向に飛び出す恐れがあります。</p> 
<p><b>衣類に付着させない</b> 衣類から浸透し皮膚に接触する恐れがあります。付着した場合は水で十分洗い流してください。なお、アルカリ性の洗剤・漂白剤は絶対に使用しないでください。</p> 	<p><b>製品を含めた金属類に付着させない</b> 腐食性があるため、錆が発生します。付着した際は十分に拭き取ってください。</p> 

### 注意

<p><b>薬液カートリッジ保管時の注意</b> 一度開封した薬液ボトルは蓋が閉まっている状態でも完全気密ではありません。腐食性があるガスにより錆が発生することがあります。通気性の良い場所で保管してください。</p> 	<p><b>薬液カートリッジ廃棄時の注意</b> 空容器は水道水でよく洗ってから廃棄してください。ガスの発生がありますので、十分な換気の下で取り扱ってください。</p> 
--	--



# お使いになる前に 製品の仕様

名 称	ピュアウォッシャー(室内設置型)												
製 品 型 式	PW24W-(EW2:取出し有、EWL2:取出し無)												
電 源	単相100V (50/60Hz)												
定 格 消 費 電 力	460/510W (50/60Hz)												
周 囲 温 度	5℃～40℃(結露無きこと)												
加 湿 量	2.8kg/h(20℃、RH30%) *送風量:標準												
送 風 量	急速:1320m <sup>3</sup> /h ~ 標準:1000m <sup>3</sup> /h ~ ECO:500m <sup>3</sup> /h												
適用床面積(目安)	150～200m <sup>2</sup> *空気清浄に関する当社基準目安												
使 用 水 量	約70L/日(消臭力:標準) 約110L/日(強) 約150L/日(最大) *8hr運転時(除菌力:標準、送風量:標準)												
配 管 接 続 口	給水、排水:R1/2 (15A) ※テーパネジ												
給 水 圧 力	0.1MPa以上、0.74MPa未満												
給 水 水 質	水道水(水道法に定める水質基準に適合した飲用可能な水)												
運 転 騒 音	55dB *送風量:標準												
外 形 寸 法	幅700mm×奥行435mm×高さ1815mm												
質 量	乾燥時:130kg 運転時:150kg												
除 菌 水	微酸性電解水												
フ ィ ル タ	サランネット、乾式フィルタ												
機 能	<p>送風量切替(急速:1320m<sup>3</sup>/h 急速-:1220m<sup>3</sup>/h 標準+:1150m<sup>3</sup>/h 標準:1000m<sup>3</sup>/h 標準-:800m<sup>3</sup>/h ECO+:650m<sup>3</sup>/h ECO:500m<sup>3</sup>/h)</p> <p>加湿セーブ運転(初期設定 湿度50%、40～70% で設定可、 室温32℃以上で加湿オフ)</p> <p>結露防止運転(室温15℃以下で加湿オフ)</p> <p>除菌・消臭設定 消臭力:標準・強・最大の3段階切り替え、初期設定は標準 除菌力:標準・強・最大の3段階切り替え、初期設定は標準</p> <p>タイマー運転(曜日毎に設定可)</p> <p>自動洗浄(電解水による洗浄、貯水 標準1回/日、最大2回/日)</p> <p>自動乾燥(洗浄後の機内乾燥)</p> <p>エラーメッセージ(タッチパネルに異常内容を表示)</p> <p>扉インターロック(扉を開けると運転停止)</p> <p>いたずら防止(タッチパネルの操作をロック)</p> <p>画面オートオフ(停止時にタッチパネルを消灯)</p> <p>除菌水取出し(取出し機能付き機種)</p> <p>LED照明(吹出し部、除菌水取出し部)</p> <p>温湿度表示切り替え</p>												
標 準 付 属 品	<table> <tr> <td>薬液カートリッジ(1L)</td> <td>1個</td> </tr> <tr> <td>薬液用ボトルキャップ</td> <td>1個</td> </tr> <tr> <td>床固定金具</td> <td>1式</td> </tr> <tr> <td>扉鍵</td> <td>2個</td> </tr> <tr> <td>3P-2P変換アダプタ</td> <td>1個</td> </tr> <tr> <td>クロル試験紙</td> <td>1式(取出し機能付き機種)</td> </tr> </table>	薬液カートリッジ(1L)	1個	薬液用ボトルキャップ	1個	床固定金具	1式	扉鍵	2個	3P-2P変換アダプタ	1個	クロル試験紙	1式(取出し機能付き機種)
薬液カートリッジ(1L)	1個												
薬液用ボトルキャップ	1個												
床固定金具	1式												
扉鍵	2個												
3P-2P変換アダプタ	1個												
クロル試験紙	1式(取出し機能付き機種)												

# お使いになる前に 除菌水取出し機能の仕様

本機能はピュアウォッシャー内部で生成した微酸性電解水(除菌水)を直接取り出すものです。微酸性電解水は適切な使用により除菌効果を発揮しますので、下記事項を守ったうえでお使いください。

## <主な用途>

- ドアノブや机等の日用品や家具の除菌
- 床等の清掃
- 手洗い

## <してはならないこと>

- 飲食等、直接口に入るものへの使用
- 食器や食べ物の洗浄
- 他の殺菌剤や洗剤との混合使用
- 汲み置き放置

## <ご注意ください>

- 使用前に必ず有効塩素濃度を確認してください。  
\*塩素濃度の目安は10~30ppmです。測定には市販のクロル試験紙を使用してください。
- 皮膚に刺激や発疹などの症状が現れた場合は作業を中断し、医師の指示に従ってください。
- 除菌水は汲み置きせずにお使いください。  
保存する場合は遮光性の密閉容器に入れて早めにご使用ください。
- おう吐物やおむつなど有機物量が多いものの除菌には使用できません。  
これらを除菌する場合は次亜塩素酸ナトリウム希釈水等を使用してください。
- 細菌やウイルスの殺菌効果を保証するものではありません。

生成量	約 2.0 ~ 5.0L/min	(給水圧により変動します)
薬液使用量	約 1.0 ~ 2.0mL/min	(給水圧により変動します)
除菌水 有効塩素濃度	30ppm【標準】	(給水圧により変動します)
除菌水 pH	5.0 ~ 6.5	

※ご使用条件により多少の差異が生じますのでご了承ください。

※除菌水取出しを行うことにより、通常運転のみに比べて薬液の消費が早くなります。  
薬液の補充に関してはお買い上げの販売店にご相談ください。

## <<微酸性電解水・微酸性次亜塩素酸水について>>

微酸性次亜塩素酸水は、厚生労働省が認可している食品添加物殺菌料の規格を満たした次亜塩素酸主成分とする水のことを言います。ピュアウォッシャーに搭載する生成装置は、微酸性次亜塩素酸水の範囲に電解水を生成することができる装置ですが原料水の水質等によっては、食品添加物の基準に合わない場合があります。

# お使いになる前に 基本動作

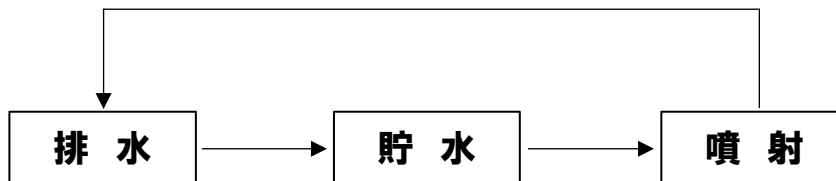
---

ピュアウォッシャーの運転は、循環水の排水→貯水→噴射→排水…の繰り返しが基本動作になります。消臭力の設定(設定方法はp.15)により、排水→貯水の頻度が異なります。

## 【消臭力】

- 標準 … 60分に1回、排水を行います。
- 強 … 30分に1回、排水を行います。
- 最大 … 20分に1回、排水を行います。

※ 排水中でも送風は停止しません。



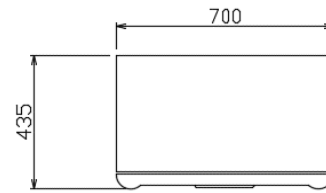
排水量は1回につき、約4Lです。

# お使いになる前に

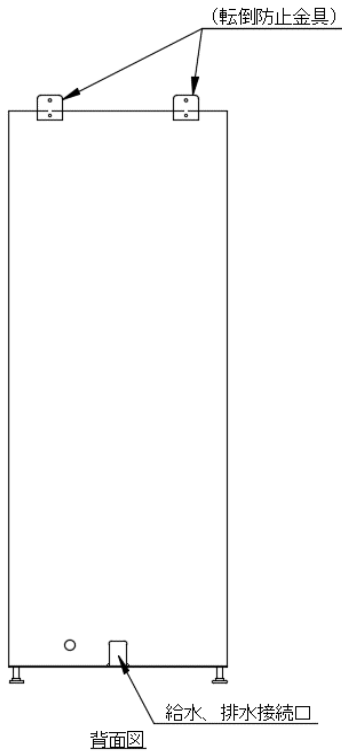
# 各部の名前

## <ピュアウォッシャー本体>

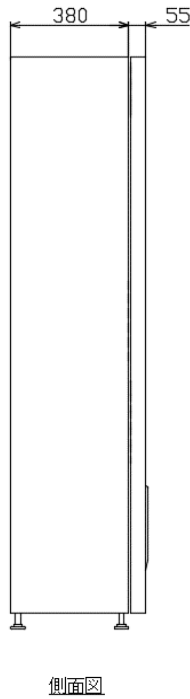
※ 転倒防止金具は付属しません。  
(取り付け穴のみ)



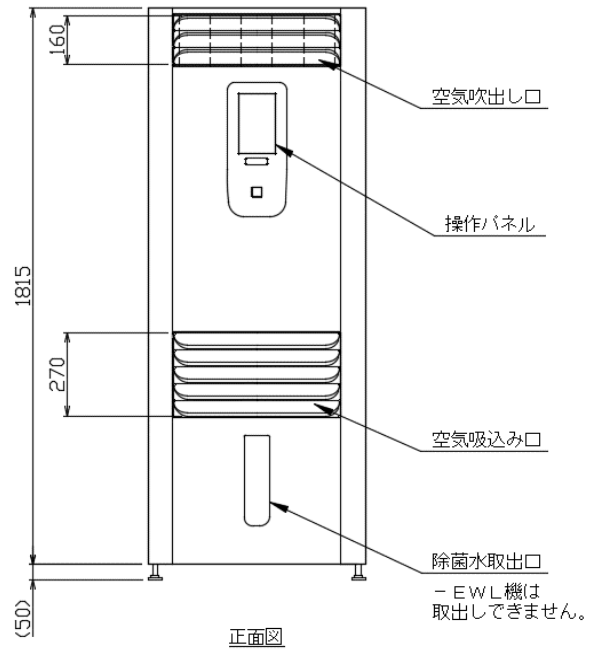
上面図



背面図



側面図



正面図

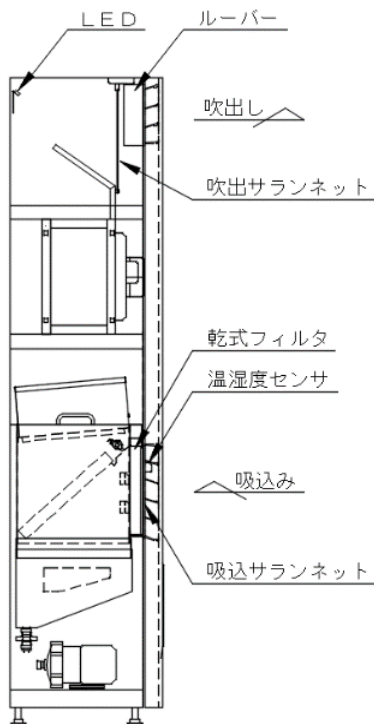
空気吹出し口

操作パネル

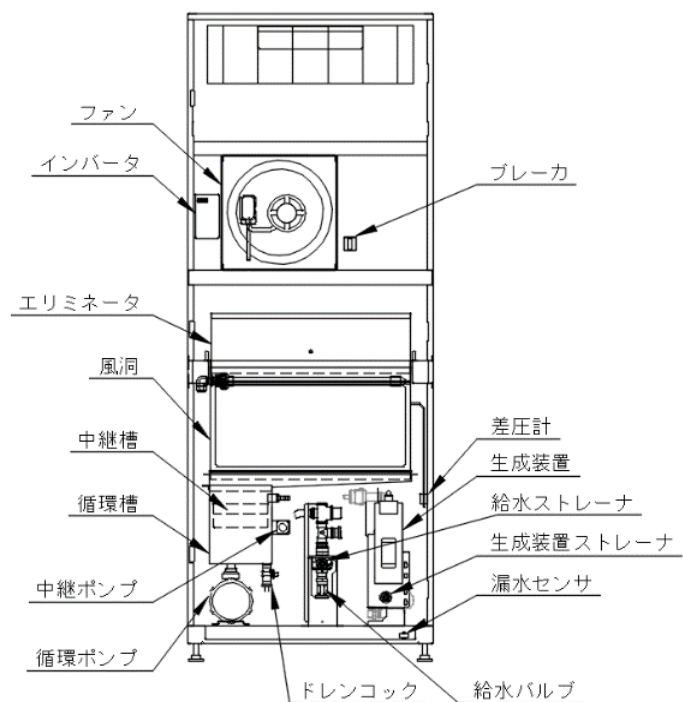
空気吸込み口

除菌水取出口

- EWL機は取出しできません。



内部図



ファン

インバータ

エリミネータ

風洞

中継槽

循環槽

中継ポンプ

循環ポンプ

ブレーカ

差圧計

生成装置

給水ストレーナ

生成装置ストレーナ

漏水センサ

ドレンコック

給水バルブ



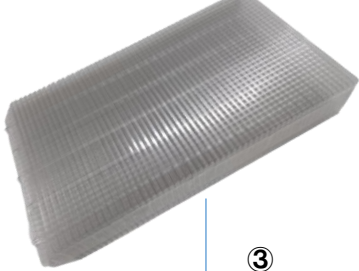
<ワッシャ部>

※ ワッシャ : 水を噴射する部分

組立手順: ①→②→③  
①'→②'→③'

・エリミネータ

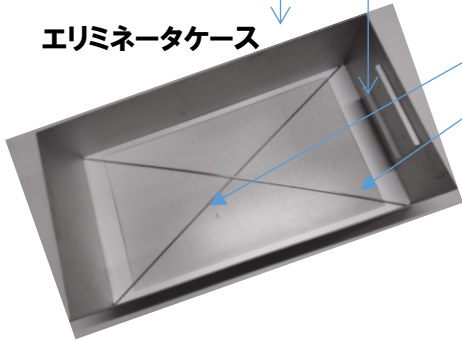
エリミネータ(上)



エリミネータ(下)×2

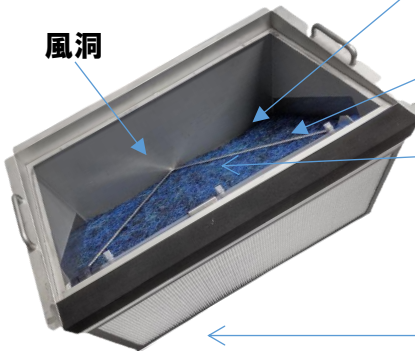


エリミネータケース



・風洞(噴射部)

風洞



メディア

②'



乾式フィルタ



固定金具

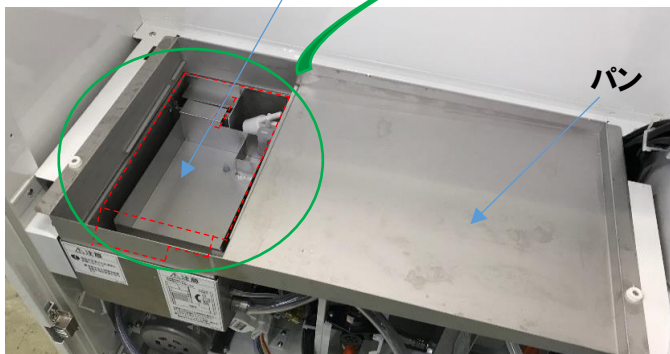
フレーム(エリミササエ)

メディアフレームR,L

メディアオサエ

・循環槽周辺

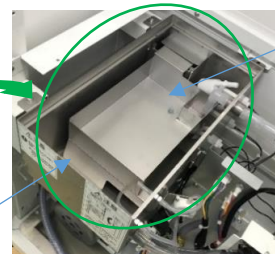
迂回板



パン

循環槽

仕切板



中継槽

水位計

(HH)

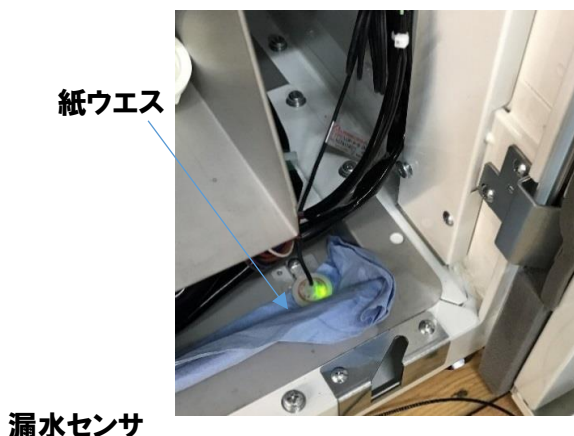
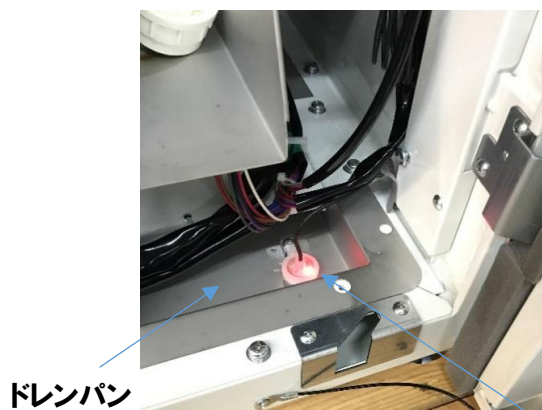
(H)

(L)

中継ポンプ

中継槽を外した状態

## <漏水センサ部>



漏水を検知するとLEDが赤色に点灯し、エラーとなります。

復旧は、漏水センサとドレンパンの間に紙ウエス等を差し入れ、水分を除去してください。  
(LEDが緑色になれば除去完了です)

\*復旧後、漏水センサ(LED部)を軽く押し、ドレンパンから浮いていない事を確認してください。

## <専用薬液カートリッジ>



ピュアウォッシャー専用薬液カートリッジ  
\*ご購入の際は販売店にご連絡ください。

※ご注意ください

- 必ずピュアウォッシャー専用薬液カートリッジをご使用ください。
- 取り扱いの際、皮膚炎症(手荒れなど)を防ぐため、ゴム手袋などの保護具を着用してください。
- 強い腐食性があります。床や製品にこぼした場合は十分ふき取ってください。
- 他容器への小分けはしないでください。
- 他薬品との混合は絶対にしないでください。
- 薬液は絶対に飲まないでください。
- 薬液による異常事態(拭き零し、付着など)が発生した際は「専用薬液(希塩酸)に関する応急処置方法」(本書P.27)に従ってください。皮膚炎症や誤飲・吸引など体内に接種した場合は必ず医師の指示に従ってください。
- 一度開封した薬液ボトルは、蓋が閉まっている状態でも完全気密ではありません。腐食性があるガスにより錆が発生することがあります。通気性の良い場所で保管してください。
- 空容器は水道水でよく洗ってから廃棄してください。ガスの発生がありますので、十分な換気の下で取り扱ってください。

# お使いになる前に 初めて使用する前に

据付の際、必ず別紙の「施工要領書」をご参照ください。

- 据付、配線、排管の工事作業は必ず専門知識を有した工事業者の方が行なってください。
- 本製品は給排水の接続が必要な製品です。製品背面から接続してください。給水はホース等容易に取り外し可能な状態で給水管から分岐してください。
- 給水圧が0.1MPa未満ではご使用になれませんので、事前にご確認ください。
- AC100Vの3Pアース付コンセントを使用します。変換プラグをご使用の際は必ずアース線を接続してください。
- 必ず転倒防止措置を講じてください。アンカー固定または転倒防止板を取り付けてください。
- 転倒防止板は、地階と1階は700L、2階以上は1100Lを使用してください。尚、3階建て以上の建物の最上階及び屋上、高さ60mを超える建物については転倒防止版単独での使用は避けてください。
- 据付後はサービス業者が試運転をし、安全に運転できることを確認します。お客様による運転操作は引き渡し終了後行なってください。

## 〈ご確認ください〉

- サランネット、乾式フィルタ、メディア、エリミネータ、専用薬液等内蔵部品が正しく設置されていることを確認してください。
- 給排水ホースが正しく接続されていることを確認してから機内の給水バルブを開いてください。
- 電源プラグが根元まで差し込まれ、アース線の接続を確認した上で扉内部のブレーカをオンにしてください。
- 扉をしっかりと閉めて運転操作を行なってください。
- 本製品は停止中も自動洗浄運転を行いません。やむを得ない場合を除き電源はオフしないでください。

# お使いになる前に 水回りを清潔に保つために

ピュアウォッシャーは機内水回りの衛生状態を保つために、電解水洗浄、乾燥運転、電解水貯水、除菌力・消臭力設定の各機能を備えています。運転条件や設置環境によって汚れの進み具合は異なります。下記をご参照の上で状況に応じた運転設定を行ってください。

## <電解水洗浄>

- 毎日1～2回、電解水で機内を洗浄する機能です。洗浄時間は1回あたり10分です。
- 洗浄回数は、一日の運転時間が12hr未満の場合は1回(2回も可)、12hr以上では2回となります。
- 機内の汚れが目立つ場合は、運転時間にかかわらず2回の洗浄をお勧めします。
- 電解水で循環洗浄するため、強いプール臭がする場合があります。気になる場合は、洗浄時刻を夜間不在時等に設定してください。

## <電解水貯水>

- 電解水洗浄した後、次の運転開始時刻まで循環槽内を電解水で満たす機能です。生物膜の生成を抑制する効果があります。

## <乾燥運転>

- 電解水洗浄した後、機内を通風乾燥する機能です。乾燥時間は室内の温湿度に応じて20～50minです。
- 運転時刻と乾燥運転が重なる場合(24hr運転など)は、運転時刻を優先し、乾燥運転しません。スケジュール設定上乾燥運転ができず、かつ汚れが目立つ場合は、乾燥運転できるようスケジュール設定し直していただくことをお勧めします。  
例) 24hr運転(乾燥運転に移行できない) → 18hr以下の運転にする

## <除菌力>

- 加湿運転中の電解水注入量を増やすことにより、循環水の除菌力を高める機能です。
- 初期設定は標準です。機内の汚れが目立つ場合は、強または最大に設定することをお勧めします。  
\*除菌力設定を高めることでプール臭が強くなる場合があります。

## <消臭力>

- 循環水の入れ替え頻度を増やすことにより、消臭力(空気中の臭気ガス成分を水に取り込む能力)を高める機能です。
- 入れ替え頻度は、消臭力標準(初期設定)が60分、強30分、最大20分です。
- 循環水入れ替え毎に電解水が貯水されるため、設定を増やすことにより除菌力を高める効果もあります。



水回りを清潔に保つ上でサランネットの清掃も重要です。  
「お手入れの仕方」を参照の上、こまめに清掃してください。

運転条件や設置環境によっては、運転継続に伴い水回りの汚れが進行することがあります。このような場合に備えてメンテナンス契約にご加入いただいております。詳しくは「メンテナンス契約について」(p.24)をご参照ください。

# お使いになる前に 水回りの点検と自主管理

ピュアウォッシャーを衛生的にお使い頂くため、「レジオネラ症を予防するために必要な措置に関する技術上の指針」に従って一か月に一回以上の点検と自主管理を行って下さい。

## <レジオネラ症を予防するために必要な措置に関する技術上の指針>

平成15年7月25日厚生労働省告示第264号、平成30年8月3日改正

- 維持管理上の措置(第五条第三項)  
加湿装置の使用開始時及び使用期間中は一か月に一回以上、加湿装置の汚れの状況を点検し、必要に応じ加湿装置の清掃等を実施するとともに、一年に一回以上、清掃を実施すること。
- 自主管理(第七条)  
施設の管理者は、自主管理を行うため、自主管理手引書及び点検表を作成して、従業者等に周知徹底するとともに、施設の管理者又は従業者の中から日常の衛生管理に関わる責任者を定めることが必要である。

## <点検方法>

- 乾式フィルタを外して、風洞やパン、循環槽内に生物膜が付着していないか目視や触診により確認して下さい。
- 生物膜はバイオフィーム、スライム、ヌメリとも呼ばれ、様々な色(茶・黒・白・ピンク等)があります。硬い固着物であるカルシウムやシリカスケールとは異なり、生物膜は柔らかくスポンジ等で除去することができます。清掃は、お手入れのしかた(p.22)に準じて行って下さい。
- 生物膜が発生する場合は、前項記載のとおり運転設定の変更により対応しますが、設置環境によっては汚れが進行することがあります。  
このような場合は、追加メンテナンス契約にご加入頂いています(p.24参照)。

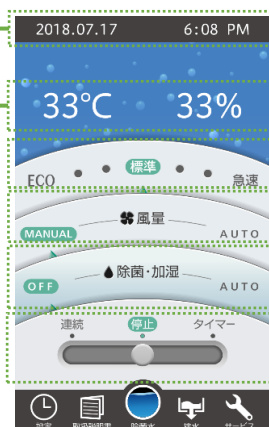
# 運転のしかた

# 操作パネル表示内容

＜タッチパネルの表示＞

日付・時刻を表示します。

温度・湿度を表示します。



風量を調整します(7段階)。

AUTOにすると加湿運転時風量を自動調整します。

除菌水噴射による除菌・消臭・加湿運転を行います。

運転・停止します。

## 下部アイコン

設定

… 日時、タイマー、除菌力、消臭力、加湿停止設定、画面条件、画面輝度、温湿度表示を設定します。

取扱説明書

… 取扱説明書が表示されます。

除菌水

… 除菌水を取り出します。(－EW機のみ)

排水

… 排水を行います。

サービス

… メンテナンスの際、サービスマンが使用します。

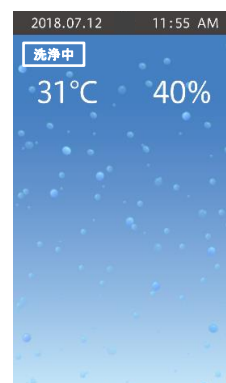
## ①起動画面



## ②操作画面



## ③運転・停止中画面



洗浄中

乾燥中

… 自動洗浄中または乾燥中に表示されます。  
タッチすると洗浄または乾燥運転を中止できます。



エラー メッセージ

… エラーまたはメッセージがある時に表示されます。  
タッチすると内容が表示されます。

立ち上げ中...

… 電源投入から30分間表示されます。  
この間は加湿セーブ運転、結露防止運転は行いません。  
また、アラーム音も鳴りません。



# 運転のしかた

## 基本的な運転方法

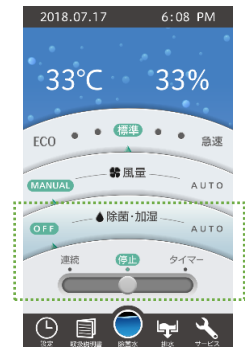
運転開始前に・電源がオンになっていることを確認してください。本製品は停止中も自動洗浄運転を行うため、必要な場合を除いて電源をオフしないようお願いいたします。

### 1) 運転モードを選ぶとき

「連続—停止—タイマー」の運転操作ボタンをスライドする。

連続	常時運転を行います。 連続運転開始時刻から12時間毎に自動洗浄運転を行います。
停止	運転を停止します。 洗浄時刻(タイマーで設定します)には自動洗浄運転に切り替わります。
タイマー	設定した曜日・時間に自動で運転ON/OFFをします。

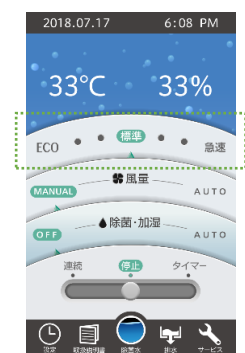
- \*タイマー運転にはスケジュール設定が必要です。
- \*停止中も、洗浄時刻には自動洗浄運転が入ります。



### 2) 風量を調整したいとき

文字または「・」をタッチする。

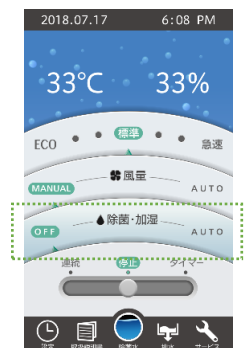
ECO	ECO+	標準-	標準	標準+	急速-	急速
500m <sup>3</sup> /h	650m <sup>3</sup> /h	800m <sup>3</sup> /h	1000m <sup>3</sup> /h	1150m <sup>3</sup> /h	1220m <sup>3</sup> /h	1320m <sup>3</sup> /h



### 3) 除菌・消臭・加湿運転をしたいとき

文字をタッチしてAUTOに合わせる。

- \*室内を快適に保つため、自動で加湿調整をします。(加湿セーブ機能)  
室温32℃以上:加湿オフ  
室温16~31℃:加湿停止設定での設定温度以上で加湿オフ  
室温15℃以下:加湿オフ(結露防止)



### 4) 風向きを調整する。

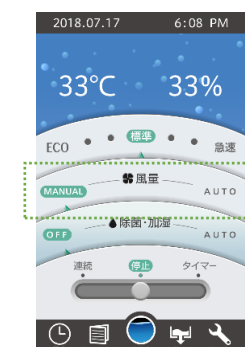
扉を開けて機内側から吹出口のルーバを手で左右に動かす。



### 5) 加湿風量制御 (風量 AUTO)

文字をタッチしてAUTOに合わせる。

- \*設定風量に対して、1段階の強弱運転を行います。  
湿度が低い場合は風量を強くして加湿を強めます。  
湿度が高い場合は風量を弱くして加湿を弱めます。
- \*MANUALは風量が一定です。



# 運転のしかた

# 各設定の方法

## 1) 日付と時刻を設定する。

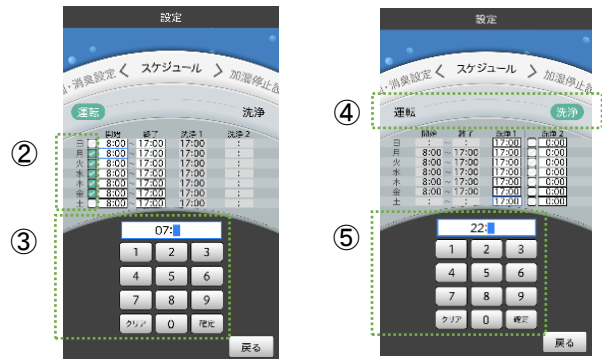
- ① 設定をタッチする。
- ② 矢印をタッチし、「その他」に合わせる。
- ③ 画面上部の日付と時刻をタッチして数字を入力する。



## 2) タイマーを設定する。

- ① 設定をタッチする。
- ② 運転したい曜日のチェックボックスをタッチする。
- ③ 運転時刻を入力する。
- ④ 洗浄をタッチする。
- ⑤ 洗浄運転開始時刻を入力する。

\* 運転開始時刻は 00:00~23:59、終了時刻は 開始時刻+00:01~+24:00 の範囲で入力してください。  
 \* 自動洗浄運転は1日1回は必ず行います。  
 (運転停止中も含む)  
 \* 24時間運転したい時は 開始~開始+24時間後で 設定してください。(例: 00:00~24:00)



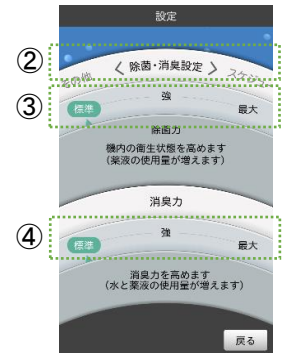
## 3) 除菌力、消臭力を設定する。

- ① 設定をタッチする。
  - ② 矢印をタッチし、「除菌・消臭設定」に合わせる。
  - ③ 設定したい除菌力をタッチする。
  - ④ 設定したい消臭力をタッチする。
- \* 通常は標準でお使いください。(初期設定)

<組み合わせによる使用水量>

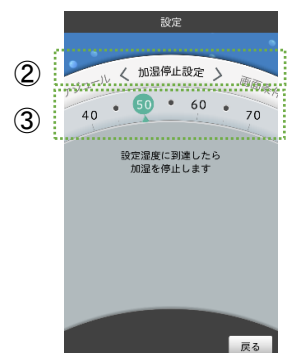
		除菌力		
		標準	強	最大
消臭力	標準	70L/日	70L/日	70L/日
	強	110L/日	110L/日	110L/日
	最大	150L/日	150L/日	150L/日

\* 除菌力を変更しても使用水量は同じです。水道水と除菌水の比率が変わります。  
 \* 使用水量は連続運転(1日8時間、風量:標準、電解水貯水ON、洗浄1回)で行った時の目安です。



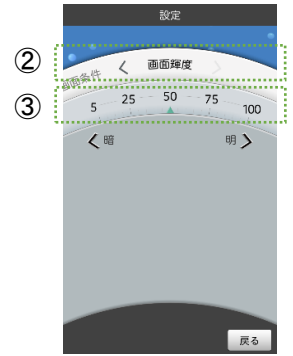
## 4) 加湿停止湿度を設定する。

- ① 設定をタッチする。
  - ② 矢印をタッチし、「加湿停止設定」に合わせる。
  - ③ 加湿を停止する湿度をタッチする。
- \* 初期設定は50(%)です。



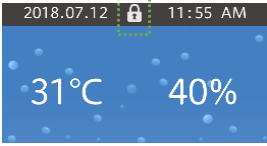
## 5) 画面の明るさを調節する。

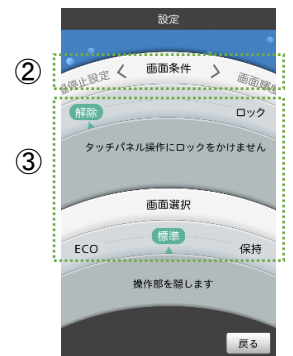
- ① 設定をタッチする。
- ② 矢印をタッチし、「画面輝度」に合わせる。
- ③ 矢印をタッチし、明るさを調節する。



## 6) 画面条件を設定する。(画面ロック、運転/停止中画面)

- ① 設定をタッチする。
- ② 矢印をタッチし、「画面条件」に合わせる。
- ③ 設定したい画面状態をタッチする。

画面条件	解除：運転/停止中画面をタッチすると操作画面に変わります。 ロック：運転/停止中画面からの復帰にロックをかけます。(いたずら防止) *操作画面に復帰するには画面右上を3秒間長押しします。 *「ロック」選択時、画面の上部中央に鍵マークを表示します。  *「ロック」選択時には、画面選択の「保持」は選択できません。
画面選択	ECO：運転中は動画、停止中は画面を消灯します。 標準：運転中は動画、停止中は静止画を表示します。 保持：運転/停止中画面に移行せず、操作画面を保持します。 *「保持」選択時には、画面条件の「ロック」は選択できません。



## 7) LEDの点灯を設定する。

- ① 設定をタッチする。
- ② 矢印をタッチし、「その他」に合わせる。
- ③ 設定したい点灯状態をタッチする。  
 ON: ファン運転時に吹出し部のLEDを点灯(通常設定)  
 OFF: 常時LEDを消灯



## 8) 温湿度の表示を設定する。

- ① 設定をタッチする。
- ② 矢印をタッチし、「その他」に合わせる。
- ③ 設定したい表示状態をタッチする。  
 ON: 画面に温湿度を表示する(通常設定)  
 OFF: 画面に温湿度を表示しない

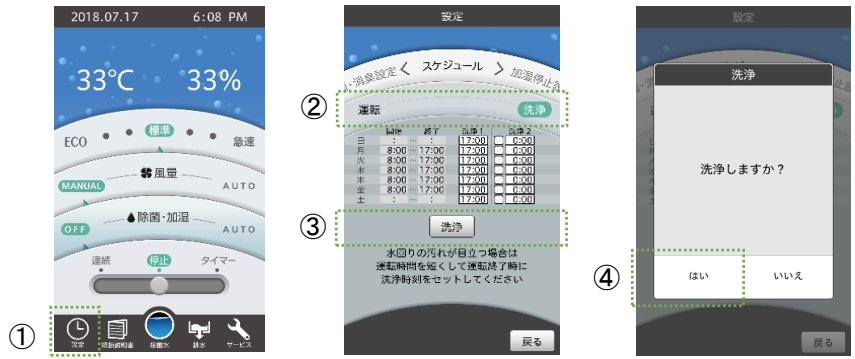


# 運転のしかた

# その他の操作方法

## 1) 洗浄したい時

- ① 設定をタッチする。
- ② 洗浄をタッチする。
- ③ 洗浄ボタンをタッチする。
- ④ 「はい」をタッチする。



## 2) 電源をオフしたい時

- 本製品は機内を清潔に保つため自動で洗浄を行います。停止中も自動洗浄しますので、必要な場合以外は電源をオフしないでください。やむを得ず電源をオフする場合は、下記手順に従い必ず排水してから電源をオフしてください。

- ① 運転を停止する。
- ② 「排水の方法」の順序で排水を行う。
- ③ 排水終了後、電源をオフする。

## 3) 長期間使用しない時(電源をオフする場合)

- 除菌水生成装置の劣化を防ぐため電解槽内の薬液を水に置き換える必要があります。2週間以上電源をオフする場合は、販売店にご連絡ください。

- ① 「2)電源をオフしたい時」を実行する。
- ② 販売店に連絡する。

\*再度使用する際は販売店にご連絡ください。

## 4) 移設したい時

- 安全のため、販売店にご連絡ください。

- ① 「2)電源をオフしたい時」を実行する。
- ② 販売店に連絡する。

\*お客様ご自身で移設作業を行なわないでください。

## 排水の方法

- ① 排水をタッチする。⇒確認メッセージが表示される。
- ② 「はい」をタッチする。⇒排水中メッセージが表示される。
- ③ 中断するには「キャンセル」をタッチする。
- ④ 完了メッセージが表示される。⇒「OK」をタッチする。

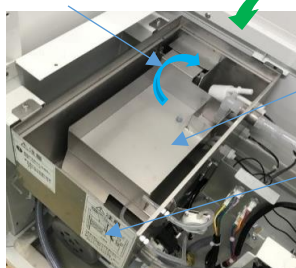
\*電源をオフする場合は、必ず排水してください。

\*完全に排水したい時は、中継槽に溜まっている水を循環槽にあげ、ドレンホースから抜いてください。

\*エラーによる停止中でも、排水はできます。



- 1) 中継槽の水を循環槽にあげる



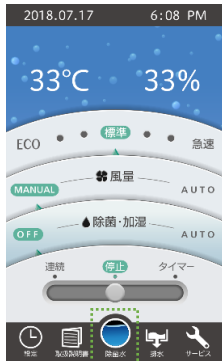
中継槽  
循環槽



- 2) ドレンホースを固定バンドから外し、バケツ等に入れる
- 3) ドレンコックを開け、循環槽の水を排水する

注意) 洗浄中および乾燥中は、除菌水の取り出しができません。

1) 操作画面より【除菌水】ボタンをタッチします。



①

2) パスワード入力画面にてパスワードを入力します。



②

\*パスワードの設定手順

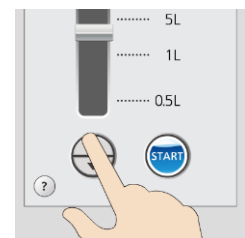
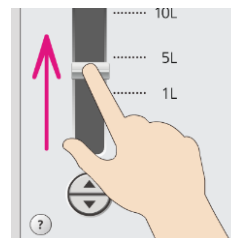
- ①【除菌水】ボタンを長押しします。(7秒)
- ②パスワード設定画面表示後、数値を入力します。
- ③パスワード入力後【Enter】キーを押すと入力された数値が新しいパスワードとして登録されます。

- ※【パスワード無効】ボタンを押すと、パスワードを無効にします。(パスワード未設定)
- ※パスワード未設定の場合、除菌水取出し時のパスワード入力がスキップされます。

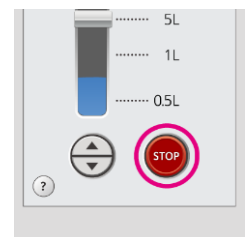
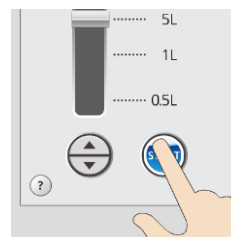
3) 除菌水取出口が開きます。  
除菌水取出口を容器の上にセットし、OKをタッチします。



4) 除菌水取出し量を設定します。  
(カーソルとボタンで設定操作可能です。)

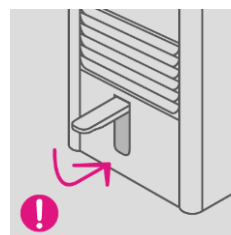


5) 【START】ボタンを押します。  
除菌水の取出しが始まります。  
【STOP】ボタンを押すと停止します。  
取出し中は、いつでも停止することができます。



注意) 取出操作画面で、無操作・無動作状態が5分以上継続すると自動的に除菌水取出画面を終了し、エラーとなります。

6) 除菌水取出口を閉じると操作画面に戻ります。



除菌水がこぼれた時はよくふき取って下さい。  
特に金属部分に除菌水が残ったままだと、変色やさびの原因となります。



# お手入れのしかた

ご使用の環境により清掃・交換頻度は異なる為、定期的な点検が必要です。

## <作業上のご注意>

- 作業をする時は運転を停止し、電源をオフしてください。また、電源をオフする前に排水をしてください。
- 電源操作は濡れた手で行わないでください。
- 清掃作業には中性洗剤など薬品を使用しないでください。
- 作業時は製品に水がかからないよう、シートなどで養生をしてください。
- 無理のない清掃を行ってください。ご不明な点は販売店にお問い合わせください。

## <お手入れの方法>

- サランネットの清掃(目安:2週間~1ヶ月/回)
  - ① サランネットの埃を水洗いまたは掃除機で取り除く。
  - ② 乾いた雑巾で水気をふき取る。  
\*埃は雑菌の温床になりますので、こまめに清掃してください。

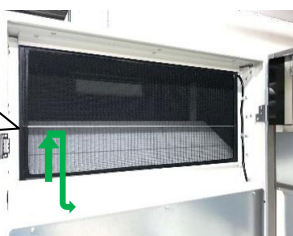


### サランネットの外し方(取り付けは逆手順)

ケース上部

扉部

鉄芯はネットの手前、  
下寄りになるように  
取り付けて下さい。



持ち上げて  
手前に引く



フィルタ枠を倒して  
手前に引く

フィルタ枠

- 乾式フィルタの交換(交換目安:都度)

乾式フィルタは定期メンテナンスの際の交換部品ですが、使用環境や運転条件によっては6ヶ月を待たずに目詰まりする場合があります。「フィルタ交換」のメッセージが表示された後、サランネットを清掃しても再度「フィルタ交換」のメッセージが表示される場合は、乾式フィルタを交換してください。

- 薬液カートリッジの交換(交換目安:3週間~3ヶ月/回)

- ① ノズル先端部コネクタを反時計回りに回してノズルを外し、空のカートリッジを取り出す。
- ② キャップを新しいカートリッジに付け替えてしっかりと閉める。
- ③ 新しいカートリッジのキャップノズル先端部コネクタを本体側と接続します。  
\*カートリッジを交換する際はゴム手袋などを着用してください。  
\*カートリッジは強く掴まないでください。薬液が飛び出す恐れがあります。



※万一薬液がこぼれてしまった場合、必ず水拭きしてください。付着部が錆びる恐れがあります。

\*交換目安は除菌水取出しを使用していない場合のものです。  
除菌水取出しを使用した場合、薬液消費量は多くなります。

※設置環境や運転状態により、清掃・交換頻度は異なります。  
※交換部品のご購入・お問い合わせは販売店にご連絡ください。  
サービス業者によるメンテナンスの際、交換をご提案させていただくことがあります。



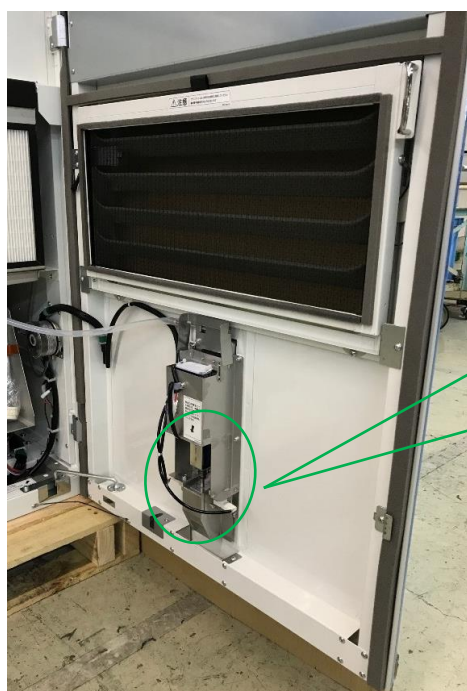
# お手入れのしかた

## <作業上のご注意>

- 本作業はメンテナンス作業員、またはそれに準ずる知識・ノウハウを持った方が行ってください。

### ● 除菌水取出口 摺動部のグリス塗布(適宜)

- ①ロック部ソレノイドのシャフトを動かしながら摺動部にグリスを塗布する。
  - ②取出口の動きを確認する。
- \*グリスは MOLYKOTE EM-30L 相当品 を使用してください。



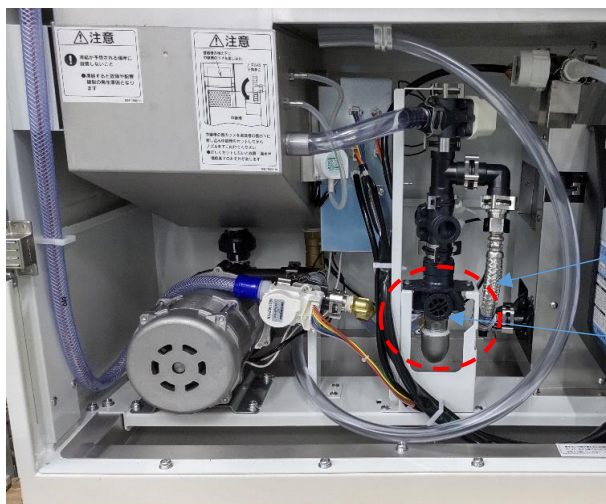
ソレノイド

シャフト

シャフトを上下に動かしながらシャフトと鉄板との接触部にグリス塗布し、馴染ませる

### ● ストレーナの清掃(適宜)

- ①給水バルブを閉める。
  - ②ストレーナ下部にタオル等を敷く。
  - ③生成装置ストレーナと給水ストレーナを取り外し、ゴミ等を取り除く。
  - ④清掃後、ストレーナを取り付け、給水バルブを開ける。
- \*給水バルブは必ず閉めてからストレーナを取り外してください。  
\*ストレーナの取り付け、取り外しはコイン等を使用してください。  
\*取り付け後、水漏れがないことを確認してください。



給水バルブ  
※赤枠部裏側に設置

給水ストレーナ

生成装置ストレーナ



# お手入れのしかた 水回りのお手入れ

ピュアウォッシャーは機内水回りの衛生状態を保つために、電解水洗浄、乾燥運転、電解水貯水、除菌力・消臭力設定の各機能を備えていますが、運転条件や設置環境によっては、運転継続に伴い水回りの汚れが進行する場合があります。このような場合は下記手順に従い清掃して下さい。

## <作業上のご注意>

- 本作業はメンテナンス作業員、またはそれに準ずる知識・ノウハウを持った方が行ってください。
- 作業前、排水した後に電源をオフしてください。電源操作は濡れた手で行わないでください。
- 必ずゴム手袋を着用してください。素手での作業は部品端面等で手を傷つける恐れがあります。

## <用意するもの>

- ゴム手袋
  - エリミネータ、メディア(メンテナンス時の交換部品)
  - 清掃道具(スポンジ、たわし、ブラシなど)
  - バケツ
  - 紙コップ、洗瓶など(内壁に水をかけて汚れを洗い流せるもの)
  - ウェス、ペーパータオルなど(水がこぼれた際にふき取れるもの)
- ※トイレトーパーやティッシュペーパーは、ちぎれた紙片がポンプに吸われ、配管内やノズルに詰まる恐れがありますので使用しないでください。

## <準備>

- ① 排水した後、電源をオフする。
- ② 機内(特に漏水センサ)や床面を濡らさないよう、ドレンパン前部にタオル等を敷く。
- ③ 乾式フィルタを外す。
- ④ エリミネータカバーを外して、エリミネータとメディアを取り外す。  
\*各部品の取り外し方はメンテナンス要領書を参照してください。  
\*エリミネータとメディアは濡れているため、たらいやごみ袋で受けてください。  
\*送風運転を事前に30分程しておくとうエリミネータとメディアの乾燥が進みます。(完全ではありません)
- ⑤ 噴射管を取り外す。この時、リングが脱落しないよう注意する。
- ⑥ 迂回板、中継槽を取り外す。
- ⑦ ドレンホースをバケツに入れる。



## <清掃>

- ⑧ 風洞やパンの汚れをスポンジで落とす。  
\*噴射管周辺は汚れが溜まりやすいので注意してください。
- ⑨ 紙コップ等を用いて、汚れを循環槽内に洗い流す。  
\*循環槽に溜まった水は、ドレンコックをあけてバケツに捨ててください。
- ⑩ 風洞を取り外す。  
\*続いて行う循環槽の清掃をしやすいようにするため。  
スペースに余裕がない場合は外さなくても清掃できます。
- ⑪ 循環槽内の汚れを落とす。
- ⑫ 仕切板を抜き取り、メッシュに付着した汚れを落とす。
- ⑬ 紙コップ等を用いて、循環槽内部の汚れをドレンからバケツに洗い流す。



# お手入れのしかた 水回りのお手入れ

## <復旧>

- ⑭ 取り外した部品を元に戻す。  
\*エリミネータとメディアは消耗品のため、新品を準備してください。  
\*中継槽とシリコンチューブ(φ3×5)の接続を忘れないでください。
- ⑮ 電源投入後、手動操作画面で給水バルブを開き水位Hまで貯水する。
- ⑯ 循環ポンプを使用して排水する。  
\*これにより循環ラインに混入した汚れを機外に排出します。  
\*排水は手動操作、自動排水(操作画面の排水アイコン)のどちらでも結構です。
- ⑰ 噴射状態を確認する。(メンテナンス要領書参照)
- ⑱ 強制洗浄を行う。(スケジュール設定画面)
- ⑲ 通常運転に戻る。



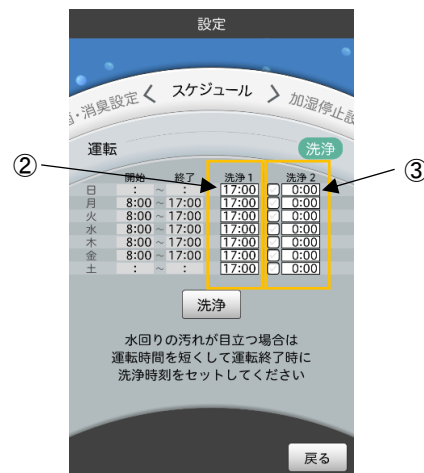
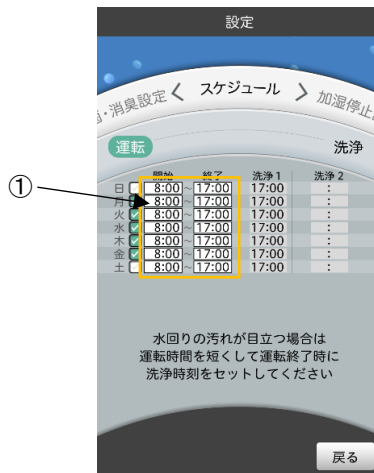
清掃で出た汚れが循環ラインに混入しないよう下記をお守りください。  
\*循環槽内に落とした汚れはドレンホースからバケツに捨ててください。(⑨)  
\*運転復旧は、必ず排水から行ってください。(⑯)

市販の除菌洗浄剤(浴槽等で使用するもの)を使用する場合は、  
薬液が機内に残らないように水できれいに洗い流し、よく拭き取ってください。  
残った洗剤は微生物の餌となり汚れを促進することがあります。



水回りの汚れが目立つ場合は、下表を参照の上、運転条件を設定してください。

	操作	画面
①	運転時間を短くする(24hr運転は避ける)	スケジュール設定画面
②	洗浄時刻を運転終了時刻にセットする	スケジュール設定画面
③	洗浄回数を2回とする。2回目の洗浄時刻は運転時間の中間とする	スケジュール設定画面
④	湿度上限(加湿停止湿度)を50%以下とする	加湿停止設定画面
⑤	除菌力・消臭力を上げる	除菌・消臭設定画面



スケールは水道中に含まれているカルシウムやシリカが析出したものであり、  
付着していても機能上問題ありません。  
ステンレス表面を傷付ける恐れがあるため、無理に除去しないでください。



衛生的な環境を確保するため、水回りの汚れの状況に応じて  
メンテナンスによる清掃を実施してください。  
ピュアウォッシャー本来の性能、効果が発揮できなくなります。



# メンテナンス契約について 【必須】

ピュアウォッシャーを長く安心してご使用いただくにはメンテナンスを行ない、運転状態の確認や構成部品の点検・清掃・交換を行なう必要があります。専門知識が必要になるため、クボタのメンテナンス契約や年間保守契約システムにご加入いただいております。詳細は販売店にお問い合わせください。

## ●メンテナンス契約

メンテナンス契約は、6ヶ月毎に行う定期メンテナンスと、汚れの発生状況に応じて行う追加メンテナンスで構成されます。

- ・定期メンテナンス・・・6ヶ月毎に実施。点検・清掃の他、消耗品の交換を行います。
- ・追加メンテナンス・・・メンテナンス時に確認した機内水回りの汚れの発生状況に応じて行います。

汚れの発生程度は、設置環境や運転条件により大きく異なるため、状況により追加メンテナンスの頻度が増える場合も想定されます。予め御了承ください。

メンテナンススケジュール

●定期メンテナンス／★追加メンテナンス

対応者	種別	項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
サービスマン	定期交換 [消耗品]	乾式フィルタ	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-	●
		中継ポンプストレーナ	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-	●
		エリミネータ上・下(2個)	-	-	(★)	-	-	●	-	-	(★)	-	-	●
	定期交換 [清掃/再利用]	メディア	-	-	(★)	-	-	●	-	-	(★)	-	-	●
		サラネット(吸込・吹出)	-	-	(★)	-	-	●	-	-	(★)	-	-	●
		固定金具・エリミネータケース	-	-	(★)	-	-	●	-	-	(★)	-	-	●
お客様	日常のお手入れ	生成装置/給水ストレーナ	-	-	(★)	-	-	●	-	-	(★)	-	-	●
		サラネット(吸込・吹出)	～都度～											
		薬液カートリッジ	～都度～											
		水回りの汚れ点検	～1ヶ月に1回以上～											

上記項目の他、サービスマンによるメンテナンスには各部清掃/点検作業を含む

1. 追加メンテナンス(★)は、汚れの発生程度に応じて実施します。
2. 薬液は、使用条件により交換頻度が異なるためメンテナンス項目には含まず、必要都度注文して頂きます。(3本/箱)
3. 定期交換部品[清掃/再利用]は、メンテナンス時に持ち帰り清掃したもの(固定金具は現地清掃したもの)を再利用します。
4. 乾式フィルタは使用環境や運転条件により6ヶ月を待たずに目詰まりする場合があります。必要時に注文して頂きます。

## ●メンテナンス項目



No.	項目	目的	作業方法	基本	追加
1	運転状態確認	機器故障の未然防止	運転中に異音や動作異常がないか確認する。	○	○
2	積算運転時間確認	機器故障の未然防止	サービス画面で累積運転時間を確認し交換目安と比較する。	○	○
3	噴射状態確認	ノズル詰まりによる能力低下(除菌消臭加湿)の未然防止	ノズル詰まりがないか目視確認する。詰まっている場合はノズルを外して清掃する。	○	○
4	電解水濃度確認	次亜塩素酸が正常に生成されているか	試験紙中継槽内の電解水に浸して塩素濃度・pHを確認する。	○	○
5	中継ポンプ運転状態確認	機器故障の未然防止	中継槽から循環槽に電解水が滴下されていることを循環槽の運転確認窓から確認する。	○	○
6	機外ホース接続部状態確認	漏水の未然防止	ホースにひびや膨れがないか、継手に緩みがないか確認する。	○	○
7	機内ホース配管部水漏れ確認	漏水の未然防止	配管部から水漏れがないか確認する。	○	○
8	生成装置ストレーナ給水ストレーナ交換	ストレーナ目詰まりによるPW運転停止(給水量少)の未然防止	給水バルブを閉めて生成装置ストレーナ、給水ストレーナを交換し、給水バルブを開ける。(リサイクル)	○	○
9	サラネット(吸込・吹出)交換	サラネット目詰まりによる風量低下防止	吸込、吹出それぞれのサラネットを交換する。(リサイクル)	○	○
10	乾式フィルタ交換	乾式フィルタ目詰まりによる風量低下防止	風洞吸込み部の乾式フィルタを交換する。(新品)	○	×
11	エリミネータ交換	目詰まりによる能力低下(除菌消臭加湿)の未然防止	風洞上部のエリミネータを交換する。(新品)	○	○
12	メディア交換	目詰まりによる能力低下(除菌消臭加湿)の未然防止	風洞内部のメディアを交換する。(新品)	○	○
13	中継ポンプストレーナ交換	目詰まりによる能力低下(除菌消臭加湿)の未然防止	循環槽内部の中継ポンプストレーナを交換する。(新品)	○	×
14	中継槽内汚れ確認(清掃)	中継ポンプ目詰まり未然防止	中継槽内に汚れがあれば除去、清掃する。	○	○
15	循環槽・風洞清掃	雑菌繁殖防止・ゴミ堆積による機能障害の未然防止	循環槽、仕切板、風洞内部の汚れを除去、清掃する。	○	○
16	機内清掃	衛生確保	機内の埃や汚れを清掃する。	○	○
17	除菌水取出し部グリス塗布	除菌水取り出し口の動作不良防止	除菌水取り出し口金具(ソレノイドのシャフト部)にグリスを塗布する。	○	○

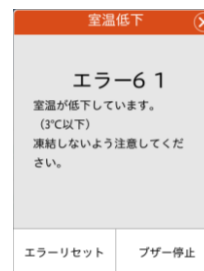
\*上記の他、機器故障時は交換が必要となります。(ファン、自動弁、ポンプ類、生成装置等)

# 困ったとき

## エラー／メッセージ

画面右上に   マークがついている、または警報が鳴っている場合は以下の操作をしてください。

- ① 画面右上の   マークを押す。
- ② ブザー停止を押す。(警報は30秒間鳴ります)
- ③ エラー内容を確認した上で、所定の処置をする。
- ④ エラーリセットを押しエラー解除した後、運転復旧する。



\* 処置後もすぐに   マークや警報が出る場合、販売店にご連絡ください。

## エラー／メッセージのコード一覧

分類	コード	原因	処置方法
エラー	10	漏水している	給水バルブを閉じて、漏水箇所を確認してください。
	11	循環槽の水位が高い	給水バルブを閉じて、水位計HHに異常がないか確認してください。
	20	ファン異常	ファンへの配線に異常がないか確認してください。
	21	生成水切替弁異常	生成水切替弁への配線に異常がないか確認してください。
	22	循環切替弁異常	循環切替弁への配線に異常がないか確認してください。
	23	排水できない	仕切板の目詰まり、排水管の折れ、凍結や詰まりがないか確認してください。
	24	洗浄運転から復帰できない	①仕切板の目詰まり、排水管の折れ、凍結や詰まりがないか確認してください。 ②給水ストレーナ目詰まり、断水等がないか確認してください。
	25	貯水異常	①給水バルブ、機外バルブが開いているか確認してください。 ②給水電磁弁に異常がないか確認してください。 ③給水ストレーナ目詰まり、断水等がないか確認してください。
	26	循環槽低水位	①給水電磁弁に異常がないか確認してください。 ②水位計Lに異常がないか確認してください。
	27	水位計の動作不良	水位計HおよびLに異常がないか確認してください。
	28	室温低下(凍結)	凍結の恐れがありますので、機器に異常が無い確認してください。
	30	通信エラー(温湿度センサ)	①温湿度センサのコネクタの接触不良、配線に異常がないか確認してください。 ②電源を入れ直し、エラーリセット後、運転を再開してください。
	31-32	通信エラー	電源を入れ直し、エラーリセット後、運転を再開してください。
	40	薬液カートリッジが正しくセットされていない	薬液カートリッジが空になっていないか、また、正しく取り付けられているかを確認してください。
	41	水なしエラー	①蛇口や他機器で水が使用されるなど、給水量が一時的に低下する要因がないか確認してください。 ②ストレーナ(給水部、生成装置部)の目詰まり、断水等を確認してください。
	42	薬液ポンプエラー	薬液ポンプに異常がないか確認してください。
	43	生成装置の電極消耗	販売店にご連絡ください。(生成装置の交換)
	44	生成装置の異常停止	生成装置のコネクタの接触不良、配線に異常がないか確認してください。
	45	生成装置の異常	①エラーリセット後、運転を再開してください。 ②再発する場合、本手順を何度か繰り返すと復旧する場合があります。
	46	薬液の残量がない	薬液カートリッジが空になっていないか、また、正しく取り付けられているかを確認してください。
47	生成装置のポンプ強制運転中	販売店にご連絡ください。(サービス業者で対応)	
50-57	GUIエラー	①制御基板からタッチパネルへの配線に異常がないか確認してください。 ②電源を入れ直し、エラーリセット後、運転を再開してください。	
メッセージ	60	吸込サランネットまたは乾式フィルタの目詰まり	①吸込サランネットを清掃してください。 ②乾式フィルタの状態を確認してください。(汚れている場合は交換) ③差圧チューブの折れを確認してください。
	61	室温低下	室温が低下しています。(3℃以下) 凍結しないよう注意してください。
	62	生成装置の寿命	販売店にご連絡ください。(生成装置の交換)
	71	取出口操作急停止	除菌水取出し中に取出口が閉まりました。こぼれた水があれば拭取ってください。
	72	取出口開	除菌水取出口を閉めてください。

## 故障かなと思ったら

運転動作や性能に異常を感じた時は以下の内容をご確認いただくか、販売店にお問い合わせください。  
異常(異音・異臭など)を感じた際は運転を停止し、販売店にお問い合わせください。

症状	確認・処置方法
運転ができない(運転停止)	製品のドアが開いている可能性があります。 ドアが本体3ヶ所のマグネットに張り付いているか確認し、 鍵を閉めてから再度運転をしてください。
除菌・消臭・加湿ができない (加湿AUTO)	加湿セーブ機能が働いている可能性があります。温度・湿度を ご確認ください。 ①32℃以上 ②16～31℃で設定温度以上 ③15℃以下
風量が少ない、風が出ていない	サラネット、乾式フィルタが汚れている可能性があります。 下記方法でご確認ください。 ①運転を停止し排水してから電源をオフする。 ②扉を開きサラネットと乾式フィルタの汚れを確認し、必要 によりサラネットの清掃および乾式フィルタの交換を行う。 ③電源をオンにして扉を閉め、運転を確認する。 (p.20をご覧ください)
停止中に運転する	本製品は停止時や休日でも1日1回以上の自動洗浄運転を行います。 (画面上に「洗浄中」と表示します。) 事前に御希望の運転時間を設定してください。 尚、電源はオフしないでください。
吹出口の送風からプール臭を感じる	本製品は薬液を使用するため、設置環境や使用状況によっては プール臭を感じる場合があります。 安心してご使用いただけるよう設定しておりますが、気になる場合は 販売店にご相談ください。
除菌水取出口が開かない	・洗浄中および乾燥中は除菌水取出しができません。 ・ロックを解除する摺動部の動きが悪くなっている可能性が あります。摺動部にグリスを塗布してください。 (p.21をご覧ください)
吹出し空気が生臭い	機内が汚れている可能性があります。 下記方法を試してみてください。(P.23をご覧ください) ①運転時間を短くする。 ②加湿停止設定の値を低くする。 ③除菌力をあげる。 ④エリミネータとメディアを交換する。 ⑤水回り(風洞、循環槽)を清掃する。 症状が改善しない場合は販売店にご相談ください。
水なしエラーが発生する	ストレーナの目詰まりにより給水圧が低下している可能性があります。 給水バルブを閉めた後、機内の給水ストレーナ、生成装置ストレーナ を清掃してください。(p.21をご覧ください)  ※ ピュアウォッシャーが接続されている給水管に蛇口や他の設備を 接続、使用されている場合、一時的に給水圧が低下して水なし エラーが発生することがあります。リセットして復旧してください。
漏水エラーから復旧しない	漏水センサに水滴が付着しています。漏水センサの下に紙ウエス等 を差し込み、水滴を取り除いてください。 (p.10をご覧ください)
タッチパネルの動きが悪い	①アースを接続してください。 ②電源をオフ・オンしてください。
薬液なしエラー(エラーコード46)または薬液供給異 常(エラーコード40)が発生する	薬液キャップのノズル先端部コネクタがゆるんでいる可能性があります。 (p. 20をご覧ください)
湿度表示値が他の湿度計の値と異なる	湿度の測定精度の違いや測定場所による差です。 湿度表示は目安としてください。



## 専用薬液(希塩酸)に関する応急処置方法

直接接触や誤飲などにより皮膚炎症などの症状が現れる可能性があります。  
以下は応急処置として留意し、処置後は速やかに受診・医師の指示に従ってください。

事例	応急方法
皮膚に付着した	直ちに付着部を多量の流水で洗い流してください。
目に入った	直ちに目を流水で15分以上洗い流してください。 目は擦らないでください。
誤飲した	出来るだけ多量の水または牛乳や生卵を飲ませてください。 無理な嘔吐はしないでください。
ガスを吸入した	直ちに新鮮な空気環境に移動し安静にしてください。 酸素吸入が可能な場合は実施してください。 意識がない場合は至急医師の手当てを受けてください。
衣類に付着した	直ちに体から離し、多量の流水で洗い流してください。 アルカリ系洗剤、アルカリ系漂白剤および酸性洗剤の使用は絶対にやめてください。

## 製品についてのご相談

---

以下の場合はお買い求めの販売店にご連絡ください。

- 製品に異常(異音・異臭など)を感じたとき
- 機内水回りの汚れが多いとき
- 薬液カートリッジや乾式フィルタを購入されるとき
- 長期間運転を行わず電源をオフするとき(2週間以上)
- 移設や撤去をご検討されているとき
- 使用方法が分からないとき
- 製品やメンテナンス契約内容について知りたいとき

## 保証

---

### ■保証書別添

保証書は「お買い上げ日、販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店からお受け取りになり、大切に保管してください。

#### 1. 保証期間

製品の保証期間は納品後12ヶ月とします。

#### 2. 保証範囲

(イ)上記保証期間中に弊社の責による故障が発生した場合は、故障部分の交換修理、または代替品の送付を無償で行わせていただきます。

(ロ)上記保証は製品単体の保証を意味するもので、製品の故障に起因するお客様の二次損害は対象外となります。

#### 3. 修理を依頼されるときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

販売店

製造元

株式会社クボタ

精密機器事業ユニット

販売元

株式会社クボタ計装

ピュアウォッシャー営業部  
東京都中央区京橋2-1-3

お客様ご相談窓口(コンタクトセンター)

TEL: 0120-732-058(フリーダイヤル)

受付時間: 当社営業日の8:30~17:00